

令和6年度入学試験問題（後期日程）

数 学

中等教育教員養成課程
中等教育プログラム 数学専攻

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答紙は4枚（4の1，4の2，4の3，4の4）あります。
3. 試験開始後、各解答紙の上部の2箇所を受験番号を記入しなさい。また、計算紙にも受験番号を記入しなさい。
4. 解答はすべて解答紙の所定の解答欄に記入しなさい。解答紙の裏面に記入した解答は採点の対象になりません。
5. 定規，コンパスは使用できません。

[1], [2], [3] 1 ページ

[4] 2 ページ

[1] 次の問いに答えよ。

(問 1) 9 個の整数 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 から、一度に異なる 5 つの数
を無作為に取り出すとき、5 つの数の中央値が 5 である確率を求めよ。

(問 2) 次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} x^2 + xy + zx = -5 \\ xy + y^2 + yz = 10 \\ zx + yz + z^2 = 20 \end{cases}$$

(問 3) a を正の定数とする。関数 $f(x)$ が実数全体で連続であり、常に

$$f(x+a) = f(x)$$

が成り立っている。このとき、

$$\int_{-\frac{a}{2}}^{\frac{a}{2}} f(x) dx = \int_0^a f(x) dx$$

が成り立つことを置換積分を利用して示せ。

[2] a を正の実数とし、 $\{a_n\}$ を初項 a 、公差 3 の等差数列とする。また、

$$S_n = \frac{1}{a_1 a_3} + \frac{1}{a_2 a_4} + \frac{1}{a_3 a_5} + \cdots + \frac{1}{a_{n-2} a_n} \quad (n = 3, 4, 5, \dots)$$

とする。次の問いに答えよ。

(問 1) 数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

(問 2) $n \geq 3$ のとき、 S_n を a と n を用いて表せ。

(問 3) $a = 3$ のとき、 $S_n > \frac{1}{15}$ を満たす自然数 n の最小値を求めよ。

[3] a, b を定数とし、 $a \neq 0, b \neq 0$ とする。次の関数 $f(x)$ が $x = \frac{\pi}{2}$ で微分
可能であるとする。

$$f(x) = \begin{cases} (x+a)(b - \cos x) & (0 \leq x < \frac{\pi}{2}) \\ \frac{\pi}{2} \log\left(x + 1 - \frac{\pi}{2}\right) & (x \geq \frac{\pi}{2}) \end{cases}$$

次の問いに答えよ。ただし、対数は自然対数とする。

(問 1) a, b の値を求めよ。

(問 2) $\int_0^{\frac{\pi}{2} + e^{-1}} f(x) dx$ の値を求めよ。ただし、 e は自然対数の底とする。

[4] 次の問いに答えよ。

(問 1) a, b, c を正の整数とする。このとき、次の (*) が成り立つ。

a, b が互いに素であり、 bc が a で割り切れるならば、
 c は a で割り切れる。 (*)

この事実について、以下の (ア), (イ) に答えよ。

- (ア) 次の記述はユークリッドの互除法を利用した (*) の証明である。
(1) の空欄を適切に埋め、(2) および (3) の空欄にあてはまる数式をそれぞれ答えよ。

証明 a, b が互いに素だから、 (1) は 1 である。
このとき、ユークリッドの互除法から

$$\text{input type="text"/> (2) \text{input type="text"/>$$

を満たす整数 x, y が存在する。 bc が a で割り切れるから、

$$bc = a \cdot k$$

を満たす整数 k が存在する。 (2) の両辺
に c を掛けて、

$$l = \text{input type="text"/> (3) \text{input type="text"/>$$

とおけば、 l は整数であり、

$$c = a \cdot l$$

と表せる。よって、 c は a で割り切れる。(終)

- (イ) a, b が互いに素であるとき、 c が a, b の両方で割り切れるならば
 c は ab で割り切れることを、(*) を利用して示せ。
- (問 2) x, y を自然数とする。1つ 90 円の商品 A を x 個、1つ 130 円の商品 B を y 個あわせて総額が 5000 円になるような x と y の組み合わせを全て求めよ。